

令和4年度 第1回 鶴見区地域福祉保健計画（鶴見・あいねっと）推進委員会 議事要旨

日時 : 令和4年7月15日（金）15:00～16:30

場所 : 鶴見区役所6階8号会議室

推進委員 : 新田委員長、八森副委員長、

石井委員、板山委員、押山委員、門脇委員、小清水委員、清水委員、谷委員、富樫委員、日向委員、増子委員、渡邊委員

（欠席：小林委員、斉藤委員、福井委員）

事務局 : 【区役所】

鶴見区副区長、福祉保健センター長、福祉保健センター担当部長、福祉保健課長、高齡・障害支援課長、こども家庭支援課長、こども家庭支援課学校連携・こども担当課長、生活支援課長、生活支援課担当課長、高齡・障害支援課地域包括ケア推進担当係長、福祉保健課事業企画担当係長、事業企画担当職員

【区社協】

事務局長、事務局次長、事務局職員

1 開会（進行：福祉保健課事業企画担当係長）

写真撮影の承認及び議事録のホームページへの掲載について確認

2 推進委員自己紹介

新任委員になっていただいた5名の方より自己紹介をいただいた。

3 委員長あいさつ

寺尾地区であいねっと推進に取り組んできた。区全体のこともそれに負けないように、皆様のお力を借りながら推進していきたい。ご協力お願いしたい。

4 センター長あいさつ

日頃から区政推進にご協力いただき感謝申し上げます。第4期計画はコロナの影響で中止を繰り返しながら、皆様にご協力いただき、1年遅れで3月に完成した。広報よこはまに、はじめの一步として関心を持ってもらえるような特集を掲載している。地域活動のヒントとなるような内容になっている。

新型コロナウイルス感染症の第7波で、区内でも多くの感染者が出ている。皆様自身も、所属の団体におかれても、感染対策を引き続きよろしくをお願いしたい。本日は意見交換、推進方法について、忌憚ないご意見をいただきたい。

5 議事（進行：副委員長）

(1) 第4期鶴見・あいねっと推進 年間計画（案）（説明：福祉保健課事業企画担当係長）

資料2（令和4年度鶴見・あいねっと推進 年間計画）をもとに、次の通り説明。

1月の推進委員会では、推進フォーラムの具体的内容について報告したい。また、第4期鶴見・あいねっとの計画について、委員の皆様にご協力いただき6月に公開した。区ホームページに18地区の動画を紹介し、広報よこはま7月号でも紹介している。広報よこはままでの記事については、推進委員にもインタビューに協力いただいた。

(進行) 事務局からの説明に対して、何かご意見、ご質問等があればいただきたい。

→特になし。

(2) 令和4年度鶴見・あいねっと推進フォーラムについて(説明:区社協事務局次長)

資料3(令和4年度鶴見・あいねっと推進フォーラム概要)をもとに、次の通り説明。

推進フォーラムについてはR元年度以降中止となっているが、令和4年度は感染対策のうえ、実施したい。令和5年2月18日(土)午後、会場は公会堂が使用不可のため、サルビアホールを予定している。内容、構成、開催規模の詳細は事務局で検討のうえ、1月の委員会で改めて報告したい。開催が難しい場合は、中止ではなく代替手段を考えたい。開催できた場合、難しい場合を含めて、本日お配りしているアンケートにご協力をお願いしたい。

(進行) 事務局からの説明に対して、何かご意見、ご質問等があればいただきたい。

→特になし。

(3) 意見交換～第4期計画の推進方法について～

あいねっと第4期計画のPR動画視聴(矢向地区、寺尾地区)

(進行)

PR動画の一部を見ていただいた。第4期計画冊子やPR動画を参考にさせていただき、推進に向けたご意見をいただきたい。

(委員)

ケアプラザは区役所、区社協と同じく、鶴見・あいねっとの事務局も担っている。第4期計画が完成し、今後の推進に向けて具体的に話をしている。駒岡地区は3連合あり、地区ごとに特徴が違う。昨年度も集まるのが難しかったが、コロナ禍でも会長方を含めて話し合うことができた。各地区と話し合いながら進めていきたい。町会の中で何かを行うという話になりがちだが、地域のいろいろなところでサロンや活動が行われているので、町会の枠だけでなく、地域の活動を会長方に知っていただき、幅を広げて考えていけると良い。

(委員)

鶴見は地域や連合町内会の行事が盛んで、連合を超えた婦人部、民生委員のつながりで取り組んでいたことが多かったが、コロナ禍で中止となり、活動を引っ張ってきた方が体調を崩されたことで再開が難しくなった活動もある。コロナの状況でもできることをしないと外出が難しくなるという不安が高齢者にはある。その中で、自分の地区では活動がなくても、再開した他地区の活動に参加する方もいる。コロナが流行し始めた当初は、高齢者は外出を自粛していたが、どのようにしてコロナ禍で元気に生活していくか前向きになっている。他者とのつながりが弱くなったのをどう戻すかが課題であり、新しいスタイルを見出しながら、模索している。

(委員)

ボランティア・市民活動団体分科会の活動を第4期計画冊子のコラム欄にに掲載してもらった。コロナ禍で、何十年も続いていた団体がいくつも活動終了しているが、現在39団体が分科会に入っている。冊子に掲載されたので、ぜひ新たな動きを提案したい。

今回、推進委員の半分が女性になった。女性の立場で、日常生活で得たものをプラスして何かや

っていきたい。コロナだからできないこともあるが、今まで Zoom で話し合うという発想はなかったが、年を重ねるほど必要とを感じるようになった。動けなくなっても口だけは出せることを目指したい。分科会でもあいねっとでの話し合いを伝え、みんなとつながっていききたい。

(委員)

前法人が活動中止し、令和3年10月から新たに法人を立てて活動を開始した。法人の総会の際、若い人から力をもらえたらという話もあった。まめっこひろばではスタッフ会議の実施が難しかったが、Zoom を使って共有できることが多くなった。

概要版にまめっこひろばのスタッフ紹介を掲載してもらった。まめっこひろばでは元利用者がスタッフになっているが、まめっこひろばにとってあいねっとが身近なものになった。

(委員)

ここ数年、行事等も地区の運動会もできなかった。今年は種目を絞るなどして午前中だけでもやりたい等の話を聞いている。区の大会等の行事も、公共の場所は借りられても小・中学校は借りられないこともあり、うまく準備が進められない。

みなさんにスポーツを愛してほしい。5年に1度の市のスポーツ推進計画が完成した。一例として、65歳以上の週1回以上のスポーツ実施率について、平成28年度から5年間調べた。市の目標の70%はほぼクリアしており、令和2年度は80%だった。スポーツ、体を動かすことは非常に良い。科学的根拠に基づいており、要介護状態になりにくい。何がどのような形でできるか考えていきたい。

(委員)

潮田東部地区は第3期計画の振り返りのうえ、第4期推進の話し合いをしている。高齢者の見守りを中心としたポスターを作成し、病院や薬局、スーパー、コンビニなど目につく場所に掲示した。町会長と自身の連絡先を記載していたら、「お金を貸してほしい」と連絡があったので、今後は連絡先を載せない方がいいとの意見もあり、検討している。町会によって、完成して掲示しているところ、そうでないところとある状況だが、高齢者の見守りをしていきたい。

(委員)

4月～6月によく定例会を開催できた。参加者は集まれる場所、語り合える場所、人とふれあえる場所等をとっても望んでおり、また来たい、時間が足りないとの声をいただいた。暑い時期は休止しているが、9月に再開できるか懸念している。定例会だけでなく、自主グループや区内ケアプラザとのつながりもあり、コロナ以前は交流会もするなど、いろいろなところとつながりを広めてきた。介護している中で助けられたことを何かにつなげたいと、施設、ケアプラザなどに歌を歌いに行っている。本日、ゆうづるの「ほがらか教室」に行ってきた。もっと歌いたいとの声があったが、一日も早くコロナが終息し、集いあえる状況を作っていききたい。一人一人がみんなと出会いたい、話したいという思いがあふれているので、そんなところに心を配っていききたい。

(委員)

親と子のつどいのひろば4か所、まめっこひろば、保育園で育児支援を行っている8団体、わっくんひろばサテライトで集まり、コロナ禍での消毒のノウハウや状況等を話し合っている。Zoomで話しやすくなった。利用者は減少しており、来なくなった親子は子育ての大変さや苦勞の思いを吐

き出すことができてない。いろいろな方に来てもらえる周知を原点に戻って行いたい。

利用者は0歳～1歳が中心。それ以上の年齢になると保育園を利用する児童が多い。親は会社に復帰すると職場に戻ってしまうが、こどもは地域の保育園にいたので、コロナの心配がなくなれば保育園を巻き込んだ活動を考えていきたい。運営で困るのはこどものために何をしたらいいかということだが、ノウハウは保育園にあるのでつながっていきたい。

親子サークルは減ったが、一生懸命続けているサークルもある。会場の人数制限もあるが、二部制にするなど努力している。活動のための場所に一番困っているので、地域の皆様にお力添えいただければと思う。そのような声をこの場で伝えていくのも役割と考えている。

わっくんひろばについては、コロナ禍で利用者が圧倒的に減った。アウトリーチ事業として公園に出かける事業を行っており、子育て相談などでかなりの数の親子に会うことができた。その地域の子育て情報の共有や、ケアプラザや子育てサロンにも集ってもらい、地域の特性を知ることでもできた。公園遊びの中で地域の方と交流できている。妊娠期の妊婦向けの講座も行なっている。妊娠期は会社勤めの人がいったん地域に戻るなので、地域情報を伝えており、地域で子育てする気持ちになったとの感想もいただいている。

(委員)

老人クラブは地域を基盤とし、自主的な組織として活動している。人生100年時代、すべての高齢者が楽しく豊かに生きがいを持って暮らすには、助け合いながら、住みよい地域にするための活動が重要。会員の高齢化、役員のみならず手不足が大きな課題。地域の関係諸団体と協働して、地域を豊かにする明るい長寿社会づくりをしていきたい。区内には115クラブあり、7,365人の会員がいるが、会員は320～330人減少している。健康、友愛、奉仕の三大目標をもとに、新しいことにも取り組んでいきたい。

認知症サポーター養成講座をケアプラザ、地区センターの協力を得て、老人会主催で実施した。昨年度は年4回行い、約90人が参加した。今年度はケアプラザの場所を借り、250～260人に拡大予定。会員ひとりひとりに受講してもらうのが目的。一人でも多く受講してほしい。先月、駒岡地域ケアプラザでお世話になり、50人受講した。健康づくり委員会メンバーが全員キャラバンメイトのため、一事業としてやっていこうと考えている。3月には鶴見中の1年生向けの講師を行い、8月にイトーヨーカドーでも実施予定。

みずほ教育福祉財団助成事業を活用し、地域支え合い応援事業として居場所たまり場サロンを作った。この助成金は既存の活動に加えて新しい活動が必要であり、会員だけでなく広く参加者を募るなどが条件になっている。市内で手を挙げたのは12～13区。鶴見区にも声がかかり応募した。6月28日に寺尾地区でサロンを実施し、40人ほど参加した。

(委員)

地域の皆さんが住み慣れた地で楽しく暮らせるよう、健康づくり、体操、ウォーキング、子育て支援の親子の居場所等の活動を行っている。親子の居場所の区の定例会では、参加者の減少や、対象年齢は未就学児だが、実際の参加者は0歳～2歳くらいが多い等の話がある。保育園を利用するこどもが増えたので、参加者は2歳くらいまでが中心。コロナ前は参加者が多かったが、最近は少なくなった。特定健診のPRも行っている。フレイル予防の研修会もあるので、頑張っていきたい。

生麦第二地区では、認知症の啓発について、8月17日に東寺尾地域ケアプラザの講座に人形劇で参加予定。以前は公会堂でも発表した。コロナで活動できなかったが、ようやくできるようになった。認知症の啓発を続けていきたい。

(委員)

矢向地区で子育て支援等に取り組んでいる。今まで通りの活動ができないが、少ない人数でも、開催の時間をずらすなど工夫している。過去2年、連合の運動会は中止だった。今年度は5月の予定を9月に延期し、時短で種目も絞って行いたい。明日は矢向盆踊り大会の予定だが、順延した。

コロナ禍でもできることを議論したい。ほとんどがリモートだが、ある程度、状況が安定したら、対面で意見交換するのが一番充実した意見が出てくるのではないかと。重要なことは人と人とのふれあいの中で出てくる。学校の中でもリモートが増えているが、人とのふれあいという点ではどうかと思うこともある。こどもたちからも、おじいちゃん、おばあちゃんに喜んでもらえるにはどうしたらいいかと質問を受けるが、「挨拶をすること」と答えている。声かけが見守りにつながり、安心安全のまちづくりに協力している。思うように活動できない中だが、工夫してできることがあればお知恵を貸してほしい。

(委員)

寺尾での取組で、地域の作業所がコロナ禍で販売の機会がないと聞き、連合で話して、一人暮らしの人に元気になるものをお届けすることを企画した。作業所のグッズ約500個にシールを貼り、お届けすることに取り組んでいる。

(委員)

新しいスタイル、ネットワークづくりが第4期のあいねっと推進の鍵であり、その一つは委員同士の交流が必要かと思う。推進フォーラムでどう表現していくか、第4期計画をどう推進していくか、コロナ禍での皆様の活動が参考になったのではと思う。

(4) その他

横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた鶴見区アクションプランの策定について

(説明：高齢・障害支援課長)

資料5（横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた鶴見区アクションプランの策定について）をもとに、次の通り説明。

アクションプラン素案への意見募集にご協力いただき、プランが完成した。P5(5)権利擁護については、区独自で盛り込んでいる。プランについては区連会、民児協、医師会、つばさねっと、ケアプラザでの配架、市ホームページへの掲載などで周知している。ぜひ一読いただき、一緒に高齢者の住みよいまちづくりに取り組んでいきたい。アクションプランはあいねっとと密な関係がないと進めない。ご意見や一緒に取り組みたいなどあれば、お声掛けをお願いしたい。

(進行)

アクションプランは「あいねっと」と関連深い。連動しながらやっていけるといい。

本日はコロナ禍でまた皆さんと会えて情報交換できたことで、また次の活動のヒント等が浮かんだのではないかとと思う。

6 閉会（委員長）

コロナ禍でも皆さん工夫されており、感動しました。皆さん、熱心なご討議ありがとうございました。